

重症呼吸不全患者における気管支肺胞洗浄の安全性評価

■ 研究の対象となる方

2012年1月～2020年12月に、酸素投与を要する呼吸不全の治療で当院に入院し、入院中に人工呼吸管理下で気管支肺胞洗浄を施行された方

■ 目的・方法

急性呼吸不全には細菌性肺炎や肺胞出血、薬剤性肺障害など様々な原因があり、迅速な診断・介入が必要です。「気管支肺胞洗浄」は急性呼吸不全の診断補助や治療方針を決定する上で有用な手段ですが、一方で、重篤な合併症（呼吸器・血行動態の不安定、大出血、気胸）を起こすリスクあるといわれています。これまでの研究では、比較的安全に行えることも示されてきていますが、高齢者患者さんを対象とした治療はまだ十分に調査されておられません。

当院では、原因不明の急性呼吸不全に対し、高齢の患者さんも含め、人工呼吸サポートのもとで積極的に気管支肺胞洗浄を行っております。今回、人工呼吸管理下での高齢の重症呼吸不全患者を対象とした気管支肺胞洗浄の安全性を検証することを目的として本研究を行います。

診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。収集した情報は個人情報削除し、解析や検証を行います。

■ 実施期間

2021年12月16日～2023年3月31日

■ 研究に使用する情報

年齢、性別、基礎疾患の有無、発症から治療開始までの期間、手術の有無など

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。また、本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個別にご説明することも可能です。いずれも下記へお申し出下さい。

試料や情報が本研究に用いられることに対し、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので下記連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

| | |
|------------|---|
| 連絡先 | 済生会熊本病院 呼吸器内科 主任医員 中村和憲（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表) |
|------------|---|

以上